

秋の神楽祭が9月22日～24日に開催されます

神宮の神楽祭は、神恩に感謝を捧げ、国民の幸福を祈願するために、春と秋に3日間行われ、初日に外宮では午前8時30分、内宮では午前10時にそれぞれの神楽殿において執り行われます。

抜頭
 猛獣に似たわらわの敵を討ち、喜びを表現して伝わる。まゆをくりあげた赤い面と毛縁の打ち掛け装束の活発な舞。



長慶子
 舞はありません。舞楽終了の際には退場を催す退出音として必ず奏せらるる曲。拍子の早い舞楽吹

内宮神苑に設けられた特設舞台では、期間中の毎日午前11時と午後2時の2回、神宮楽師らによる舞楽の一般公開が行われる。
(雨天時は午前11時の1回のみ、内宮参集殿特設舞台において公開)

全国の名家名流による奉納

内宮参集殿奉納舞台

- 【大藏流 狂言・小舞】 9月22日(月) 12:00
 ・奉納者 大藏流狂言 第25世 大藏彌太郎氏
- 【喜多流 能楽】 9月23日(火・祝) 11:00
 ・場所 内宮参集殿奉納舞台
 ・奉納者 みもすそ会 会長 越川貴行氏
- 【囃子 連調・独調】 9月24日(水) 12:00
 ・奉納者 幸清流小鼓 桂會 代表 後藤孝一郎氏

【上田流 尺八献笛】 9月23日(火・祝) 13:00
 ・奉納者 上田流尺八道 家元 上田芳誠氏
 ・場所 内宮餐膳所

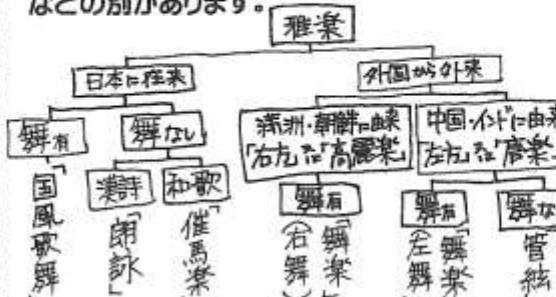
【野点茶席】 9月22日(月)～24日(水)
 ・奉納者 宇治市 小山元治氏
 伊勢市 伊勢茶道協会
 ・場所 内宮参集殿北側苑地

「神楽祭」についてのお問い合わせは
 神宮司庁 ☎(代表) 0596-24-1111

雅楽とは・・・

今日、雅楽と呼ばれている音楽は、飛鳥・奈良時代から平安時代の初めにかけて中国大陸や朝鮮半島などから日本に伝来した音楽と、わが国で古来より行われた音楽(神楽歌など)の総称です。

雅楽は、その伝来や舞の有無によって「管絃」「舞楽」「催馬楽」「朗詠」「国風歌舞」などの別があります。



こんにちは 高須新聞店で

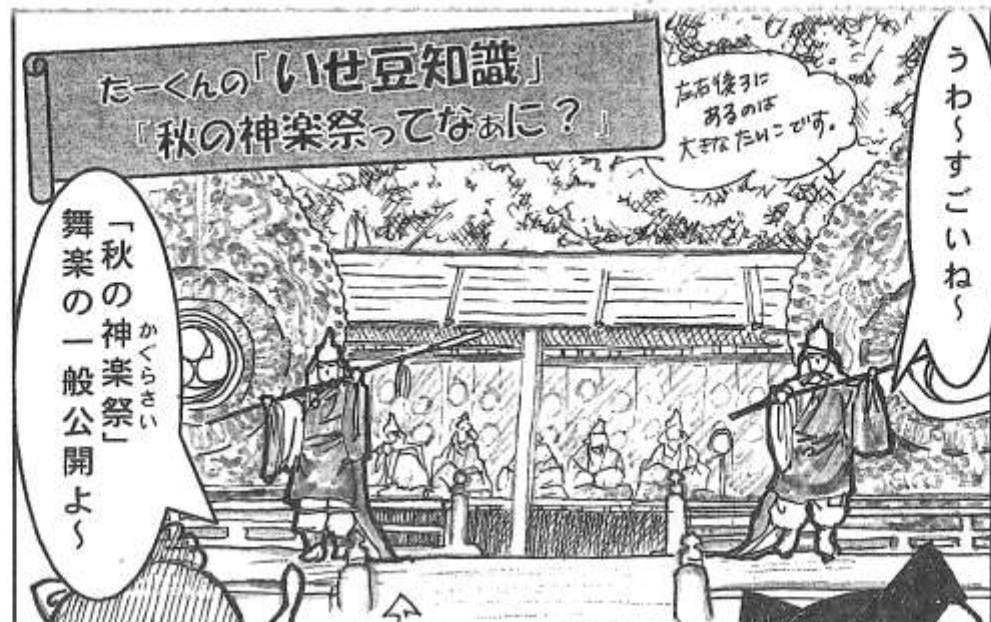
いつもご愛読ありがとうございます

秋は運動会や秋祭りなど行事がたくさんのにぎやかな季節ですね。神宮では、春と秋の2回「神楽祭」が行われますが、秋の神楽祭が9月22日から24日の3日間行われます。やはり、舞楽の一般公開が楽しみです。この3日間だけ、内宮宇治橋東詰にある神宮茶室や、宇治橋前の国史跡旧林崎文庫の講堂も庭上から一般公開されます。

この機会に拝観してみたいはかがでしよう。特に神宮茶室は、息をのむような美しさで日本を感じる素敵な建物だと思います。
 (*_*)「高須新聞店スタッフブログ」もよろしく!

次号は10月26日(日)発行予定。おたのしみに

【参考文献】『お伊勢まいり』伊勢神宮楽協会、1997年 『お伊勢さん125社めぐり』伊勢文化会、2008年 『美しい!伊勢神宮』竹本朝之、2013年 『神宮舞楽解説』神宮司廳 『改訂版検定お伊勢さん公式テキストブック』伊勢商工会議所 伊勢文化会、2010年



「秋の神楽祭」
 舞楽の一般公開よ

今回の演目は「振鉦」「迦陵頻」「抜頭」の四曲よ。



舞楽の一般公開? 神楽殿で御神楽を奉納しないの、見られないの、一般公開されるの! 宇治橋渡ってすぐの内宮神楽殿に、特設舞台が用意されたよ!



【参考URL】伊勢神宮楽協会 <http://www.jingukaikan.jp/index.html> 伊勢神宮 <http://www.isejingu.or.jp/> ウィキペディアフリー百科事典 <http://ja.wikipedia.org/wiki/> 伊勢市観光協会公式HP <http://www.ise-kanko.jp/> 伊勢人NET <http://www.isebito.com/>

いせまめ通信

高須新聞店通信 お伊勢さんを知ろう企画

発行: 中日新聞 伊勢市南部店 高須新聞店
 〒516-0014 伊勢市桶部町乙422-1
 ☎ 0596-24-1720 fax 0596-24-1728
 毎月25日頃発行 第27号 平成26年9月21日